

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月4日

上場会社名 塩野義製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4507 URL http://www.shionogi.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手代木 功

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 岸田 哲行

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

配当支払開始予定日

平成20年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	105,056	—	18,464	—	18,969	—	11,835	—
20年3月期第2四半期	104,167	13.0	17,145	56.1	17,150	56.2	10,788	68.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	35.32	—
20年3月期第2四半期	31.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	415,786	341,692	82.1	1,018.96				
20年3月期	413,703	342,235	82.7	1,020.31				

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 341,367百万円 20年3月期 341,928百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
21年3月期	—	14.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,000	7.8	48,000	18.8	48,000	20.4	30,000	19.7	89.52

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記には、「サイエル社」買取による完全子会社化に伴う影響額は、未確定のため含まれておりません。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 351,136,165株 20年3月期 351,136,165株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 16,120,220株 20年3月期 16,013,128株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 335,073,058株 20年3月期第2四半期 340,340,530株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の国内医薬品業界におきましては、増大する医療費の抑制に向けての議論を背景に、後発品の使用や医療費の包括化がさらに促進され、また、本年4月には業界平均5.2%の薬価改定が実施され、国内医薬品市場の状況は一層厳しいものとなっております。国内製薬各社はグローバルに通用する製品の開発に迫られ、国内企業による海外企業のM&Aの動きなども活発に進められました。

このような状況におきまして、当社グループは、第二次中期経営計画（2005年～2009年）につきまして、最終年度へ向けて重要な年となる4年目を手代木新社長のもとスタートさせました。研究開発面におきましては、グローバルに通用する新薬を継続的に、かつスピードを上げて、創製し開発することに引き続き注力しております。製造面におきましては、品質、安定供給を常に念頭に置いた上で、原材料の価格低減、工程改善などによる原価低減についての努力を続けております。一方、販売面では、従来から取り組んでおります高コレステロール血症治療薬「クレストール」に加え、高血圧症治療薬「イルベタン」を本年7月に新発売し、MS領域におけるシェア拡大に邁進しております。また、抗菌薬領域におけるプレゼンスの拡大や、がん疼痛からの解放・QOLの改善に向けて、的確な情報提供活動の一層の強化を図っております。なお、本年9月に米国医薬品会社「サイエル社」と買収合意し、公開買付けを経て、本年10月に完全子会社化しております。この買収は海外販売体制の整備を通じ、自社開発品の価値を十分に実現し、今後の長期的な成長を確実なものにするために重要な投資であると考えております。

〔連結経営成績〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21年3月期第2四半期累計	105,056	18,464	18,969	11,835
20年3月期第2四半期累計	104,167	17,145	17,150	10,788
増減率(%)	0.9	7.7	10.6	9.7

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上面では、医療用医薬品において「クレストール」が大きく増加し、新発売しました「イルベタン」が寄与する一方、薬価改定や市場の縮小の影響などにより抗生物質などの売上が減少しました。この結果、医療用医薬品全体の売上高はほぼ横ばいとどまりました。その他では、アストラゼネカ社による海外での「クレストール」の販売増により「工業所有権等使用料収入」が増加したほか、ジョンソン・エンド・ジョンソン社向け「輸出用ドリペナム」が増加しました。一方、シオノギエンジニアリングサービスの工事受託は減少しました。この結果、全体の売上高は1,050億5千6百万円で前年同期に比べ0.9%の増となりました。

利益面におきましては、「工業所有権等使用料収入」の増加や工事受託の減少などの部門構成の変化によりまして原価率が改善し、売上総利益は3.7%の増となりました。販売費及び一般管理費における研究開発費の増加はありましたが、売上総利益の増加で吸収し、営業利益は184億6千4百万円で前年同期比7.7%の増となり、経常利益も189億6千9百万円で前年同期比10.6%の増となりました。また、四半期純利益は118億3千5百万円で前年同期比9.7%の増となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は4,157億8千6百万円で、前期末と比べて20億8千3百万円増加しました。流動資産は、10月に行ったサイエル社買収の資金準備のために、第2四半期に投資有価証券を売却して短期の有価証券で保有していたことにより、前期末より236億1千8百万円増加し、2,185億8千1百万円となっております。一方、固定資産は投資有価証券の売却や時価の下落により減少し、前期末より215億3千5百万円少ない1,972億4百万円となっております。

負債合計は740億9千4百万円で、前期末と比べて26億2千6百万円増加しました。流動負債では、サイエル社買収に備えて行った為替予約の評価差額の計上により、前期末より52億4千9百万円増加し、476億9千2百万円となっております。また固定負債では、その他有価証券の時価の下落に伴う繰延税金負債の減少などにより、前期末より26億2千2百万円減少し、264億2百万円となっております。

純資産合計は3,416億9千2百万円で、前期末と比べて5億4千3百万円減少しました。株主資本は、四半期純利益による増加や、配当金の支払による減少などにより、前期末より75億7千7百万円増加し、3,276億1千5百万円となっております。また、評価・換算差額等は、その他有価証券の時価の下落や為替予約の評価差額の発生により、前期末より81億3千8百万円少ない137億5千1百万円となっております。

これにより、自己資本比率は前期の82.7%から82.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結結果計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、183億4千2百万円の収入になりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益189億9百万円、減価償却費55億4千9百万円、売上債権の減少53億2千5百万円などによる収入や、棚卸資産の増加48億4千1百万円、法人税等の支払額75億4百万円などによる支出であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、投資有価証券の売却による収入181億9千6百万円や、有形固定資産の取得による支出61億4千5百万円などにより、87億1千万円の収入となりました。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払40億2千万円を中心に、46億3千万円の支出となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結結果計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は222億8千万円の増となり、当第2四半期末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、898億8千9百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21年3月期(予想)	231,000	48,000	48,000	30,000
20年3月期(実績)	214,268	40,399	39,879	25,063
増減率(%)	7.8	18.8	20.4	19.7

昨今の経済情勢の不透明さは、企業経営に対してさまざまな影響を与えております。今後の国内医療用医薬品市場におきましては、医療費削減圧力が依然として強く、より一層厳しい市場環境となることが予想されます。

こうした状況におきまして、当社グループは、医療用医薬品事業を核として長期的な発展を遂げるための施策を積極的に進めるといふ第二次中期経営計画につきまして、目標達成に向け確実に取り組みを進めていくことに注力してまいります。特に、営業面におきましては、「クレストール」「イルベタン」など今後の核となる新製品にリソースを集中しシェア拡大に努めるとともに、本年10月に新発売いたしました外用尋常性ざ瘡治療薬「ディフェリン」や下半期に発売が見込まれる特発性肺線維症治療薬「ピレスパ」などの取り組みを通じて、厳しい市場環境の中にあっても着実に売上拡大を図ってまいります。また、研究開発面におきましては、引き続き国際競争力を持った開発品の継続的な創製に努めてまいります。

通期の売上高につきましては、「クレストール」「イルベタン」を中心とした国内医療用医薬品の販売拡大に加えて、「輸出用ドリペネム」の販売増や「工業所有権等使用料収入」の増加も期待されることから、期初予想(平成20年5月12日公表)の達成を見込んでおります。

利益面では、研究開発費においては増加が見込まれますが、売上の拡大によりこれを吸収し、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても期初予想の達成を見込んでおります。

なお、「サイエル社」買収による完全子会社化に伴い、平成20年度の連結業績に影響を与える可能性があります。現在、無形資産、インプロセスR&D費やのれんの評価算定を行っており、影響額が確定次第速やかに公表する予定にしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

この結果、従来の方によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に4百万円計上されており、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

3. 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この結果、従来の方によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益が8千8百万円減少し、経常利益が0百万円増加し、税金等調整前四半期純利益が8千8百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,460	11,709
受取手形及び売掛金	62,262	67,605
有価証券	86,130	62,440
商品及び製品	18,099	18,728
仕掛品	12,284	9,469
原材料及び貯蔵品	8,518	5,882
その他	20,838	19,141
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	218,581	194,963
固定資産		
有形固定資産	71,207	70,377
無形固定資産	8,871	5,618
投資その他の資産		
投資有価証券	79,581	105,452
その他	37,665	37,457
貸倒引当金	△120	△165
投資その他の資産合計	117,125	142,744
固定資産合計	197,204	218,739
資産合計	415,786	413,703
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,211	11,301
未払法人税等	6,123	7,611
引当金		
賞与引当金	6,310	6,714
その他の引当金	1,023	1,010
その他	22,023	15,805
流動負債合計	47,692	42,443
固定負債		
引当金		
退職給付引当金	7,884	7,949
その他の引当金	155	168
その他	18,362	20,906
固定負債合計	26,402	29,024
負債合計	74,094	71,468

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	305,622	297,811
自己株式	△19,514	△19,280
株主資本合計	327,615	320,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,853	22,068
繰延ヘッジ損益	△3,956	—
為替換算調整勘定	△145	△178
評価・換算差額等合計	13,751	21,889
少数株主持分	324	307
純資産合計	341,692	342,235
負債純資産合計	415,786	413,703

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	105,056
売上原価	32,979
売上総利益	72,077
販売費及び一般管理費	53,613
営業利益	18,464
営業外収益	
受取利息	628
受取配当金	644
その他	392
営業外収益合計	1,664
営業外費用	
支払利息	35
寄付金	632
その他	491
営業外費用合計	1,158
経常利益	18,969
特別利益	
投資有価証券売却益	212
特別利益合計	212
特別損失	
災害による損失	157
たな卸資産評価損	89
投資有価証券売却損	25
特別損失合計	272
税金等調整前四半期純利益	18,909
法人税、住民税及び事業税	6,026
法人税等調整額	1,027
法人税等合計	7,054
少数株主利益	19
四半期純利益	11,835

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	18,909
減価償却費	5,549
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△45
受取利息及び受取配当金	△1,272
支払利息	35
為替差損益(△は益)	△45
売上債権の増減額(△は増加)	5,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,841
仕入債務の増減額(△は減少)	1,041
その他	△91
小計	24,566
利息及び配当金の受取額	1,295
利息の支払額	△14
法人税等の支払額	△7,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,667
定期預金の払戻による収入	2,492
有価証券の取得による支出	△19
有価証券の売却及び償還による収入	2,020
有形固定資産の取得による支出	△6,145
有形固定資産の売却による収入	36
投資有価証券の取得による支出	△1,012
投資有価証券の売却による収入	18,196
貸付金の回収による収入	3
その他	△4,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△4,020
少数株主への配当金の支払額	△2
その他	△607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	△143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,280
現金及び現金同等物の期首残高	67,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,889

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める医薬品及びその関連する事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	17,737	3,714	21,452
II 連結売上高(百万円)	—	—	105,056
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.9	3.5	20.4

- (注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
(1) 欧州・・・イギリス、スイス、ドイツ等
(2) その他・・・北米、アジア等
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高(工業所有権等使用料収入を含む)であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	
I 売上高		104,167	100.0
II 売上原価		34,685	33.3
売上総利益		69,482	66.7
III 販売費及び一般管理費		52,337	50.2
営業利益		17,145	16.5
IV 営業外収益			
1. 受取利息	670		
2. 受取配当金	630		
3. 不動産賃貸料	330		
4. その他	278	1,908	1.8
V 営業外費用			
1. 支払利息	43		
2. 寄付金	532		
3. たな卸資産処分損	474		
4. 固定資産処分損	531		
5. その他	320	1,903	1.8
経常利益		17,150	16.5
VI 特別利益			
1. 投資有価証券売却益	276	276	0.2
VII 特別損失			
1. 関係会社株式売却損	25	25	0.0
税金等調整前中間純利益		17,401	16.7
法人税、住民税及び事業税	3,737		
法人税等調整額	2,868	6,606	6.3
少数株主利益		△6	△0.0
中間純利益		10,788	10.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書


	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	17,401
減価償却費	4,711
有形固定資産処分損	528
投資有価証券売却益	△276
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	△0
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△1,698
受取利息及び受取配当金	△1,300
支払利息	43
為替差損益 (差益: △)	△97
売上債権の増減額 (増加: △)	3,324
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△3,126
仕入債務の増減額 (減少: △)	398
未払費用の増減額 (減少: △)	△680
未払金の増減額 (減少: △)	△5,599
その他	1,229
小計	14,857
利息及び配当金の受取額	1,473
利息の支払額	△24
法人税等の支払額	△7,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,178

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,486
定期預金の払戻による収入	2,368
有価証券の取得による支出	△19
有価証券の売却等による収入	2,024
投資有価証券の取得による支出	△5,204
投資有価証券の売却による収入	282
有形固定資産の取得による支出	△4,779
有形固定資産の売却による収入	7
資金貸付けの回収による収入	312
関係会社有価証券の取得による支出	△634
関係会社有価証券の売却による収入	443
その他	△914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,598
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
割賦債務の返済による支出	△381
自己株式の取得による支出	△976
配当金の支払額	△2,720
少数株主への配当金の支払額	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,081
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	87
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少 : △)	△3,414
VI 現金及び現金同等物の期首残高	74,546
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	71,131

平成21年3月期 第2四半期決算

< 補 足 資 料 >

平成20年11月4日(火)

 塩野義製薬株式会社

目次

- ① 経営成績および業績予測
- ② 主な連結子会社の業績
- ③ セグメント別売上高
- ④-1 四半期別業績推移(四半期別セグメント別売上高)
- ④-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)
- ⑤ 設備投資・減価償却費
- ⑥ 研究開発費
- ⑦ 従業員数
- ⑧ 連結子会社及び持分法適用会社一覧表
- ⑨ 経営指標(連結)
- ⑩ 連結損益計算書
- ⑪-1 連結貸借対照表(資産の部)
- ⑪-2 連結貸借対照表(負債/純資産の部)
- ⑫ 主なトピック(2008年4月～2008年10月)
- ⑬ Sciele Pharma,Inc.の買収について
- ⑭ 開 発 品

① 経営成績および業績予測<連結・単体>

< 連結 >

(単位:億円)

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
売上高	1,050 (0.9)	1,260 (14.4)	2,310 (7.8)	1,041 (13.0)	1,101 (2.3)	2,142 (7.3)	9	159	168
営業利益	184 (7.7)	296 (27.0)	480 (18.8)	171 (56.1)	232 (30.1)	403 (40.0)	13	64	77
経常利益	189 (10.6)	291 (27.7)	480 (20.4)	171 (56.2)	227 (32.6)	398 (41.9)	18	64	82
当期純利益	118 (9.7)	182 (27.2)	300 (19.7)	107 (68.7)	143 (17.0)	250 (34.8)	11	39	50

()内 対前年UP%

< 単体 >

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
売上高	1,000 (3.9)	1,200 (14.5)	2,200 (9.5)	962 (9.4)	1,048 (7.3)	2,010 (8.2)	38	152	190
営業利益	162 (7.6)	283 (32.7)	445 (22.3)	151 (66.9)	212 (34.4)	363 (46.2)	11	71	82
経常利益	179 (12.4)	281 (31.9)	460 (23.5)	159 (58.0)	213 (34.0)	372 (43.3)	20	68	88
当期純利益	114 (26.3)	176 (30.9)	290 (29.0)	90 (60.4)	134 (14.9)	224 (29.8)	24	42	66

()内 対前年UP%

② 主な連結子会社の業績

〈武州製薬株〉

(単位:百万円)

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
売上高	4,604 (△ 4.5)	4,696 (4.3)	9,300 (△ 0.2)	4,821 (30.8)	4,500 (9.8)	9,321 (19.7)	△ 217	196	△ 21
営業利益	513 (△ 5.1)	287 (△ 50.6)	800 (△ 28.6)	541 (48.2)	580 (9.1)	1,121 (24.8)	△ 28	△ 293	△ 321
経常利益	453 (△ 2.7)	197 (△ 62.5)	650 (△ 34.3)	466 (75.2)	523 (△ 9.3)	989 (17.3)	△ 13	△ 326	△ 339
当期純利益	252 (△ 5.8)	98 (△ 69.3)	350 (△ 40.3)	268 (91.4)	318 (△ 21.4)	586 (7.7)	△ 16	△ 220	△ 236

()内 対前年UP%

③ セグメント別売上高

(単位:億円)

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
医薬品及びその関連する事業	1,037 (3.8)	1,231 (13.4)	2,268 (8.8)	998 (9.9)	1,085 (7.4)	2,084 (8.6)	39	146	184
医療用医薬品	743 (0.1)	866 (7.0)	1,609 (3.7)	742 (1.1)	809 (3.1)	1,551 (2.1)	1	57	58
フロモックス	121	154	275	124	162	286	△ 3	△ 8	△ 11
クレストール	83	117	200	44	60	104	39	57	96
フルマリン	55	55	110	63	58	122	△ 8	△ 3	△ 12
リンデロン等外用	52	48	100	53	47	100	△ 1	1	0
塩酸バンコマイシン	46	49	95	55	51	106	△ 9	△ 2	△ 11
オキシコンチン	40	45	85	32	34	66	8	11	19
イムネース	36	36	72	64	53	117	△ 28	△ 17	△ 45
クラリチン	33	62	95	29	61	90	4	1	5
フィニバックス	13	20	33	12	13	25	1	7	8
イルベタン	10	15	25	-	-	-	10	15	25
アベロックス	7	13	20	8	11	19	△ 1	2	1
ピレスパ	-	5	5	-	-	-	-	5	5
ディフェリン	-	4	4	-	-	-	-	4	4
輸出・海外事業	41 (38.8)	47 (41.0)	88 (40.0)	29 (7.8)	33 (31.1)	63 (19.0)	12	14	25
ドリベネム	11	19	30	1	3	4	10	16	26
製造受託	30 (13.8)	33 (1.2)	63 (6.9)	26 (57.9)	32 (39.4)	58 (47.2)	4	1	5
一般用医薬品	28 (△ 2.0)	30 (6.6)	58 (2.2)	29 (△ 6.2)	27 (△ 8.7)	56 (△ 7.4)	△ 1	3	2
セデス類	12	13	25	12	12	24	0	1	1
ポポンス類	5	6	11	6	5	11	△ 1	1	0
診断薬	17 (△ 0.2)	15 (△ 11.1)	32 (△ 5.6)	17 (1.2)	16 (2.4)	33 (1.8)	0	△ 1	△ 1
工業所有権等使用料収入	178 (14.9)	240 (45.0)	418 (30.5)	154 (86.1)	165 (28.0)	320 (50.7)	24	75	98
クレストール	166	228	394	144	154	298	22	74	96
その他の事業	13 (△ 68.9)	29 (83.7)	42 (△ 28.0)	42 (234.2)	15 (△ 76.2)	58 (△ 25.6)	△ 29	14	△ 16
合計	1,050 (0.9)	1,260 (14.4)	2,310 (7.8)	1,041 (13.0)	1,101 (2.3)	2,142 (7.3)	9	159	168

()内 対前年UP%
製品別売上高は単体実績

④-1 四半期別業績推移(四半期別セグメント別売上高)

(単位:億円)

	19年4-6月 実績	対前年 UP率	19年7-9月 実績	対前年 UP率	19年10-12月 実績	対前年 UP率	20年1-3月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	496	8.9	502	10.9	574	7.0	510	7.9
医療用医薬品	378	△ 0.1	363	2.4	441	2.6	368	3.6
フロモック	65	△ 8.5	59	△ 9.1	92	△ 1.7	71	△ 8.5
クレストール	19	-	25	140.9	31	-	29	154.7
フルマリン	30	△ 11.9	33	△ 7.6	34	△ 6.5	24	△ 8.8
リンデロン等外用	27	△ 1.6	27	1.3	26	△ 0.6	20	△ 4.4
塩酸バンコマイシン	30	△ 19.0	25	△ 27.1	30	△ 4.5	21	△ 18.6
オキシコンチン	16	22.2	16	33.6	21	35.4	13	19.8
イムネース	32	4.7	33	23.1	26	△ 22.7	27	△ 0.9
クラリチン	16	20.9	12	8.2	15	△ 11.0	46	55.0
フィニバックス	5	16.6	7	47.8	7	23.5	6	19.7
アベロックス	4	△ 47.2	4	△ 8.3	7	△ 34.7	4	113.2
輸出・海外事業	15	28.3	14	△ 8.1	13	3.9	19	61.5
ドリベネム	-	-	1	-	1	-	3	-
製造受託	9	26.8	16	84.7	18	32.5	14	49.2
一般用医薬品	14	△ 4.0	14	△ 8.4	15	△ 12.1	11	△ 3.6
セデス類	6	△ 1.1	6	△ 13.5	7	△ 2.7	5	△ 7.1
ポボンS類	3	△ 12.4	3	4.9	3	△ 20.6	2	3.9
診断薬	9	3.8	7	△ 1.7	8	7.9	8	△ 2.9
工業所有権等使用料収入	69	107.8	85	71.6	76	42.3	88	17.8
クレストール	67	112.8	77	83.5	74	41.9	81	18.1
その他の事業	5	△ 9.9	37	445.4	7	△ 77.5	7	△ 74.8
合計	502	8.7	539	17.4	582	1.8	518	2.9

	20年4-6月 実績	対前年 UP率	20年7-9月 実績	対前年 UP率
医薬品及びその関連する事業	511	2.9	526	4.8
医療用医薬品	380	0.5	362	△ 0.3
フロモック	61	△ 5.8	60	1.9
クレストール	38	99.9	46	79.7
フルマリン	25	△ 17.3	30	△ 10.8
リンデロン等外用	26	△ 2.4	26	△ 3.2
塩酸バンコマイシン	23	△ 22.2	23	△ 10.3
オキシコンチン	20	27.7	19	22.3
イムネース	20	△ 35.4	16	△ 52.2
クラリチン	18	6.4	15	25.1
フィニバックス	6	16.5	7	10.1
イルベタン	8	-	2	-
アベロックス	4	14.2	2	△ 40.9
輸出・海外事業	19	25.4	22	53.3
ドリベネム	5	-	6	528.6
製造受託	12	22.5	18	8.6
一般用医薬品	14	△ 2.6	14	△ 1.4
セデス類	6	△ 2.5	6	3.2
ポボンS類	3	3.5	3	△ 12.0
診断薬	9	0.6	8	△ 1.2
工業所有権等使用料収入	75	9.5	102	19.3
クレストール	72	8.3	93	20.6
その他の事業	6	14.5	7	△ 80.8
合計	517	3.0	533	△ 1.1

④-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成20年3月期	19年4-6月 実績	対前年 UP率	19年7-9月 実績	対前年 UP率	19年10-12月 実績	対前年 UP率	20年1-3月 実績	対前年 UP率
売上高	502	8.7	539	17.4	582	1.8	518	2.9
売上原価	32.1 161	4.0	34.4 185	22.9	31.5 183	△ 8.0	30.1 155	△ 8.4
売上総利益	341	11.1	353	14.7	399	7.0	362	8.7
販売費・一般管理費	52.0 261	2.4	48.6 262	4.6	47.1 274	1.6	49.1 254	△ 1.1
販売費・管理費	163	△ 0.2	163	0.6	163	△ 5.4	159	△ 0.3
研究開発費	97	7.2	98	12.1	111	13.8	95	△ 2.3
営業利益	15.9	53.4	17.0	58.5	21.4	21.4	20.8	41.7
営業外収支	5		△ 5		0		△ 4	
経常利益	17.0	66.2	15.9	47.5	21.3	20.1	19.9	51.7
特別損益	2		-		-		△ 1	
税金等調整前当期純利益	88		86		124		101	
税金費用他	34		31		45		37	
当期純利益	10.7	76.2	10.0	61.9	13.6	25.5	12.3	8.0

平成21年3月期	20年4-6月 実績	対前年 UP率	20年7-9月 実績	対前年 UP率
売上高	517	3.0	533	△ 1.1
売上原価	32.0 165	2.6	30.8 164	△ 11.5
売上総利益	351	3.2	368	4.3
販売費・一般管理費	52.4 271	3.8	49.7 265	1.1
販売費・管理費	166	1.4	162	△ 1.0
研究開発費	104	7.8	102	4.5
営業利益	15.6	1.1	19.5	13.4
営業外収支	2		2	
経常利益	16.2	△ 2.1	19.9	23.2
特別損益	0		0	
税金等調整前当期純利益	82		106	
税金費用他	29		41	
当期純利益	10.4	0.3	12.1	19.1

⑤ 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
連結 設備投資額	59	101	160	61	70	131	△ 2	31	29
連結 減価償却費	55	70	125	47	59	106	8	11	19
単体 設備投資額	54	91	145	56	65	121	△ 2	26	24
単体 減価償却費	50	60	110	41	55	96	9	5	14

⑥ 研究開発費

	20年上期 実績	20年下期 予定	20年度 予定	19年上期 実績	19年下期 実績	19年度 実績	増減額		
							上期	下期	年度
連結 研究開発費	207 (6.1%)	253 (21.8%)	460 (14.2%)	195 (9.6%)	207 (5.8%)	402 (7.6%)	12	46	58
連結 対売上高比率(%)	19.8	20.0	19.9	18.8	18.8	18.8			
単体 研究開発費	207 (6.1%)	253 (22.1%)	460 (14.3%)	195 (9.5%)	207 (5.8%)	402 (7.6%)	12	46	58
単体 対売上高比率(%)	20.7	21.0	20.9	20.3	19.7	20.0			

()内 対前年UP%

⑦ 従業員数

	19年3月末 実績	19年9月末 実績	20年3月末 実績	20年9月末 実績	21年3月末 予定	増減 20/3~20/9 人	増減 20/9~21/3 人
	人	人	人	人	人		
連結	4,958	5,050	4,982	5,128	4,980	146	△ 148
単体	4,300	4,381	4,233	4,351	4,230	118	△ 121

⑧ 連結子会社及び持分法適用会社一覧表

<連結子会社11社>

No.	会社名	所在地	資本金	事業内容	設立年月日	決算期	所有割合 間接所有含
1	武州製薬(株)	埼玉県川越市	1,000百万円	医薬品製造受託	1998年8月3日	3月31日	100
2	日亜薬品工業(株)	徳島市	200百万円	医薬品原薬製造	1976年8月24日	3月31日	75
3	(株)最新医学社	大阪市中央区	90百万円	医薬関連図書出版	1998年12月21日	3月31日	100
4	シオノギ エンジニアリング サービス(株)	兵庫県尼崎市	20百万円	医薬品製造機器保守 点検	1992年11月2日	3月31日	100
5	シオノギ物流サービス(株)	大阪市中央区	10百万円	倉庫、運送サービス	1985年5月21日	3月31日	100
6	シオノギ総合サービス(株)	大阪市中央区	10百万円	旅行業、保険代理	1992年11月2日	3月31日	100
7	シオノギ分析センター(株)	兵庫県尼崎市	200百万円	医薬品に関連する試験・ 分析受託	2007年12月21日	3月31日	100
8	油日アグリサーチ(株)	滋賀県甲賀市	10百万円	植物薬品試験受託	2004年2月26日	3月31日	* 100
9	台湾塩野義製薬(股)	中華民国台北市	92百万台湾元	医薬品製造販売	1963年12月26日	12月31日	100
10	シオノギUSA, INC.	アメリカ デラウエア州	10,000千米ドル	医薬開発の受託業務・ 医薬品販売	2001年2月15日	12月31日	100
11	SGホールディング, INC.	アメリカ デラウエア州	140米ドル	持株会社	2001年9月10日	12月31日	100

<持分法適用会社1社>

No.	会社名	所在地	資本金	事業内容	設立年月日	決算期	所有割合 間接所有含
1	シオノギ・グラクスミスクラインホールディングL.P.	英領西インド諸島ケイ マン島	—	持株会社	2001年10月19日	12月31日	* 50.0

* 間接所有含む

⑨ 経営指標(連結)

< 経営指標の推移(連結) >

		20年上期	19年度	19年上期	18年度
売上高営業利益率	%	17.6	18.9	16.5	14.5
売上高経常利益率	%	18.1	18.6	16.5	14.1
売上高純利益率	%	11.3	11.7	10.4	9.3
総資産回転率	回	0.25	0.51	0.25	0.47
自己資本比率	%	82.1	82.7	82.4	80.4
総資産経常利益率(ROA)	%	4.6	9.5	4.0	6.6
自己資本純利益率(ROE)	%	3.5	7.3	3.1	5.4
配当性向	%	-	29.6	-	29.3
1株当たり当期純利益	円	35.32	74.21	31.70	54.61

⑩ 連結損益計算書

(単位:百万円)

	20年上期 実績	19年上期 実績	増減額	
I 売上高	105,056	104,167	889	
II 売上原価	32,979	34,685	△ 1,706	◀前期> シオノギエンジニアリング サービス(株)で相対的に原 価率の高い大型工事を受 注
売上総利益	72,077	69,482	2,595	
III 販売費及び一般管理費	53,613	52,337	1,276	
営業利益	18,464	17,145	1,319	
IV 営業外収益	1,664	1,908	△ 244	
1.受取利息	628	670	△ 42	
2.受取配当金	644	630	14	研究開発費の増加 +12億円
3.その他	392	608	△ 216	
V 営業外費用	1,158	1,903	△ 745	
1.支払利息	35	43	△ 8	
2.寄付金	632	532	100	
3.その他	491	1,327	△ 836	
経常利益	18,969	17,150	1,819	
VI 特別利益	212	276	△ 64	
投資有価証券売却益	212	276	△ 64	
VI 特別損失	272	25	247	
1.災害による損失	157	-	157	岩手・宮城内陸地震によ る影響
2.たな卸資産評価損	89	-	89	
3.投資有価証券売却損	25	25	0	
税金等調整前四半期純利益	18,909	17,401	1,508	◀当期> 国債売却による売却損益
法人税、住民税及び事業税	6,026	3,737	2,289	
法人税等調整額	1,027	2,868	△ 1,841	
少数株主利益	△ 19	△ 6	△ 13	
四半期純利益	11,835	10,788	1,047	

⑪-1 連結貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)

	20年9月末 実績	20年3月末 実績	増減額	
(資産の部)				
I 流動資産				
1.現金及び預金	10,460	11,709	△ 1,249	国債の売却による 譲渡性預金の増加 +200億円
2.受取手形及び売掛金	62,262	67,605	△ 5,343	
3.有価証券	86,130	62,440	23,690	ドリペナムの輸出拡大及び 新製品発売による影響
4.商品及び製品	18,099	18,728	△ 629	
5.仕掛品	12,284	9,469	2,815	
6.原材料及び貯蔵品	8,518	5,882	2,636	
7.その他	20,838	19,141	1,697	
貸倒引当金	△ 12	△ 13	1	
流動資産合計	218,581	194,963	23,618	
II 固定資産				
1.有形固定資産	71,207	70,377	830	
2.無形固定資産	8,871	5,618	3,253	導入品に係る権利金の増加
3.投資その他の資産				
(1)投資有価証券	79,581	105,452	△ 25,871	国債の売却 △200億円 有価証券の時価の低下 △71億円
(2)その他	37,665	37,457	208	
貸倒引当金	△ 120	△ 165	45	
投資その他の資産合計	117,125	142,744	△ 25,619	
固定資産合計	197,204	218,739	△ 21,535	
資産合計	415,786	413,703	2,083	

⑪-2 連結貸借対照表(負債/純資産の部)

(単位:百万円)

	20年9月末 実績	20年3月末 実績	増減額
(負債の部)			
I 流動負債			
1.支払手形及び買掛金	12,211	11,301	910
2.未払法人税等	6,123	7,611	△ 1,488
3.引当金			
(1)賞与引当金	6,310	6,714	△ 404
(2)その他の引当金	1,023	1,010	13
4.その他	22,023	15,805	6,218
流動負債合計	47,692	42,443	5,249
II 固定負債			
1.引当金			
(1)退職給付引当金	7,884	7,949	△ 65
(2)その他の引当金	155	168	△ 13
2.その他	18,362	20,906	△ 2,544
固定負債合計	26,402	29,024	△ 2,622
負債合計	74,094	71,468	2,626
(純資産の部)			
I 株主資本			
1.資本金	21,279	21,279	0
2.資本剰余金	20,227	20,227	0
3.利益剰余金	305,622	297,811	7,811
4.自己株式	△ 19,514	△ 19,280	△ 234
株主資本合計	327,615	320,038	7,577
II 評価・換算差額等			
1.その他有価証券評価差額金	17,853	22,068	△ 4,215
2.繰延ヘッジ損益	△ 3,956	-	△ 3,956
3.為替換算調整勘定	△ 145	△ 178	33
評価・換算差額等合計	13,751	21,889	△ 8,138
III 少数株主持分	324	307	17
純資産合計	341,692	342,235	△ 543
負債純資産合計	415,786	413,703	2,083

Sciele社買収に備えて行った為替予約の評価差額

有価証券の時価の低下
△71億円

⑫主なトピック(2008年4月～2008年10月)

- ・ 高血圧症治療剤「イルベタン®錠 50mg、100mg」の発売 (7/1)
- ・ Sciele Pharma, Inc.を買収 (10/9: 米国東部夏時間)
- ・ 特発性肺線維症治療薬「ピレスパ®錠200mg」の製造販売承認を取得 (10/16)
- ・ 外用尋常性ざ瘡(ニキビ)治療剤「ディフェリン®ゲル0.1%」の発売 (10/21)

⑬ Sciele Pharma, Inc.の買収について

<Sciele Pharmaの買収完了>

- ・ 2008年10月8日 公開買い付け終了 全発行済み株式の92.0%が応募。
- ・ 2008年10月9日 簡易合併により、米国統括会社Shionogi USA Holdings, Inc.の100%子会社化。
- ・ 株式取得価格 1株当り \$31 転換社債の元本部分の償還費用も含めて総額\$1,424Mil.
- ・ 買収資金の調達ブリッジローンにより1,100億円を調達。自己資金約450億円を加えて買収資金に充当。今後、市場動向やコスト面を総合的に検討の上、長期借入金、普通社債等のパーマネントローンに切り替えの予定。

<買収の目的>

1. 自社パイプラインを、米国において自社販売することによる収益力の向上
 - ・ 700名超のMRIによる全米での販売網
 - ・ 米国での上市・販売に関する優秀なノウハウの活用
 - ・ 当社の重点領域である循環・代謝領域における販売面の強み
2. 米国における開発活動、インライセンス活動の機能強化
3. 製造関係の技術情報の交換によるグループとしての原価低減
4. 米国での事業運営のインフラ整備
 - ・ マーケティング、薬事、アドミ関係の機能強化

<買収による損益への影響>

(百万ドル)

<Sciele社の業績予測>	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
売上高	105	500	650	780
営業利益	30	140	200	250

* 2008年度は10～12月分

- ・ 買収価格のIP R&D、無形固定資産、のれん等への配分については現在評価算定中。
: 確定後速やかに各年度への影響について公表。
- ・ EPSについては、2008年度についてはIP R&D などの影響により当初計画より減少の見込みであるが、2009年度以降についてはSciele社の収益力により当初計画より増加の見込み。

⑭ 開 発 品 (2008年11月現在)

<国内開発品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-7701 (ピルフェニドン, Pirfenidone)	抗線維化剤 (経口)	特発性肺線維症	承認 (2008年10月)	マルナック社 (アメリカ) および KDL社(日本)	自社
LY248686 (塩酸デュロキセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン 再取り込み阻害薬) (経口)	うつ	申請中 (2008年1月)	イーライリリー社 (アメリカ)	自社
LY248686 (塩酸デュロキセチン, Duloxetine hydrochloride)	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン 再取り込み阻害薬) (経口)	糖尿病性神経因性 疼痛	フェーズⅢ	イーライリリー社 (アメリカ)	共同開発:日本イーライリリー社
S-4661 (ドリベネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	各種細菌感染症(小児)	フェーズⅢ	自社	自社
S-4661 (ドリベネム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	用法・用量追加(1g×3回/ 日:重症感染症)	フェーズⅢ	自社	自社
S-021812 (ペラミビル, Peramivir)	ノイラミニダーゼ阻害薬 (注射)	インフルエンザ感染症	フェーズⅢ (アジア共同試験)	バイオクリスト社 (アメリカ)	自社
S-811717 (塩酸オキシドン, Oxycodone hydrochloride)	アヘンアルカロイド系麻薬 (注射)	中等度から高度の疼痛を伴 う各種癌における鎮痛	フェーズⅢ	Napp社(英国)	自社
S-013420	新規マクロライド系抗生物質 (経口)	細菌感染症	フェーズⅡb	エナンタ社(アメリカ)	自社
NS75B (バモ酸セトロレリクス, Cetorelix pamoate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホル モン放出ホルモン)アンタゴニ スト(注射)	前立腺肥大症	フェーズⅡb	エターナゼンタリス社(カナダ)	自社
NS75A (酢酸セトロレリクス, Cetorelix acetate)	GnRH(下垂体性性腺刺激ホル モン放出ホルモン)アンタゴニ スト(注射)	子宮筋腫	フェーズⅡ	エターナゼンタリス社(カナダ)	共同開発:日本化薬
S-777469	選択的CB2受容体アゴニスト (経口)	アトピー性皮膚炎	フェーズⅡa	自社	自社
S-888711	低分子TPOミメティクス (経口)	血小板減少症	フェーズⅠ	自社	自社
S-555739	プロスタグランジンD2拮抗薬 (経口)	アレルギー疾患	フェーズⅠ	自社	自社

<海外開発品>

開発No.	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-2367	ニューロペプチド Y Y5 受容体 アンタゴニスト (経口)	肥満症	米国:フェーズ II b	自社	自社
S-777469	選択的CB2受容体アゴニスト (経口)	アトピー性皮膚炎	米国:フェーズ II a	自社	自社
S-349572/S-265744/S- 247303	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	米国:フェーズ II a (最大進展フェーズ)	シオノギー-GSK	共同開発:シオノギー-GSK
S-0139	エンドセリンA受容体拮抗薬 (注射)	脳血管障害	日本:フェーズ II a 欧州:フェーズ I	自社	自社
S-555739	プロスタグランジンD2拮抗薬 (経口)	アレルギー疾患	欧州:POM (Proof of mechanism)	自社	自社
S-222611	Her2/EGFRデュアル阻害薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州:フェーズ I 準備中	自社	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S-4661 (ドリペナム水和物, Doripenem hydrate)	カルバペネム系抗生物質 (注射)	細菌感染症	米国: 承認(2007年10月) 腹腔内感染症 尿路感染症 申請中(2007年6月) 院内肺炎 欧州:承認(2008年7月)	自社	ベニンシュラ社 (現ジョンソン&ジョンソン社(ア メリカ))
S-0373	非ペプチド型TRHsメチック (経口)	脊髄小脳変性症	フェーズ II 準備中	自社	キッセイ薬品
S-3013	分泌型PLA2 (sPLA2) 阻害薬 (経口)	動脈硬化	米国:フェーズ II	シオノギーイーライリリー社(アメリカ)	アンセラ社(アメリカ)

<導入品>

一般名	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
アダパレンゲル, Adapalene gel	レチノイン酸受容体作動薬 (外用)	尋常性ざ瘡	発売 (2008年10月)	ガルデルマ社 (フランス)	ガルデルマKK

2008年7月からの変更点

ステージの変更	S-7701<国内開発品>: 申請中 → 承認
	S-021812<国内開発品>: フェーズ III 準備中 → フェーズ III (アジア共同試験)
	S-555739<海外開発品>: フェーズ I → POM (Proof of mechanism)
	S-0373<導出品>: フェーズ I → フェーズ II 準備中
	アダパレンゲル<導入品>: 申請中 → 発売
リストへの追加	S-811717<国内開発品>: フェーズ III 試験開始
	S-222611<海外開発品>: 欧州でフェーズ I 試験準備中
開発品の削除	SR47436<国内開発品>: 2008年7月より発売を開始したため